人

一年

画数 2
筆順 ノ 人
オン ジン・ニン
クン ひと

成り立ち

〝人〟がたっているすがたをあらわした字です。〝ひと〟というういみの字です。

また、人をかぞえるときに「五人、六人、七人…」というようにつかわれます。

〝人〟のかたちをあらわし、〝人〟のいみをあらわしたものはたくさんあります。

〔〝人〟のいろいろ〕

皆 北 比
花 死 化
児 元 兄
抱 包 句
危 急 及
尾 屈 居

使い方

▽人格のすぐれた人というものは、必ず、人情にもあついものです。

熟語例

▽人格（人としての資格。人がら。しゃかい人としてのぎむやせきにんをどのていどじかくしているかがもんだいとなります。）

▽人情（人らしい心。とくに〝おもいやりの心〟）

▽人間（人の間、というういみのことばで、「人のすむよのなか」のこと。「人の社会」のいみから「社会人としての人」というういみにつかうことばですが、たんに〝人〟というういみにつかわれるようになりました。）

▽人類（どうぶつを分類したときの〝人〟のこと。ほかのどうぶつをいしきしていうときのことば）

▽人種（ひふのいろ、そのほかのとくちょうで人類を分類したもの。「はくしょく人種」など）

特別な使い方

▽大人（大きな人というういみ）

▽仲人（仲をとりもつ人。〝仲人〟のへんかしたもの）

▽一人、二人（むかしは三人、四人といいました。）

水

一年

画数 4
筆順 丿 才 水
オン スイ
クン みず

成り立ち

かわの〝みず〟のながれるすがたをあらわしたもので〝みず〟というういみをあらわした字です。

〝うみ〟や〝かわ〟や〝いけ〟など、「みずのあるところ」を〝みず〟ということがあります。

また、〝水星〟といって〝星〟のなまえにつかわれ、また、〝水曜日〟といって〝日〟のなまえにつかわれています。〝水曜〟とは〝水星〟のことですから、〝水曜日〟とは〝水星の日〟というういみのことばです。

使い方

▽このかわの〝水源〟は、ふじのゆきどけの〝水〟ですから、〝清水〟です。それで、〝水道〟の〝水〟も、よその〝水道〟の〝水〟とはあじがちがいます。

熟語例

▽水色（〝水の色〟ということで、〝うすい青色〟）

▽水草（水のなかにはえている草。〝スイソウ〟ともいいます。）

▽水薬（水じょうの薬。〝スイヤク〟ともいいます。）

▽水車（水のちからでまわる車。川のながれをりようして、車をまわし、こめをついたり、こなをひいたりするしかけ。〝スイシャ〟ともいいます。）

▽清水（ちかからわきでる〝清い水〟のこと。）

▽水源（〝源〟は〝水の元〟。川のながれでるところ）

▽水道（「水のとおる道」のことで、のみ水のとおる〝上水道〟と、つかいすてた水のとおる〝下水道〟とあります。ふつうは〝上水道〟、とくに、その水をつかう〝せつび〟のいみにつかいます。）

▽水清ければ魚すまず（清い水には魚がすめないように、「人も清すぎてはせいかつしにくい」というういみ）